

1

## 利益相反状態の開示

今回の発表・講演について、  
 演者、発表者あるいは共同発表者には  
 開示すべき利益相反関係にある企業などはありません。

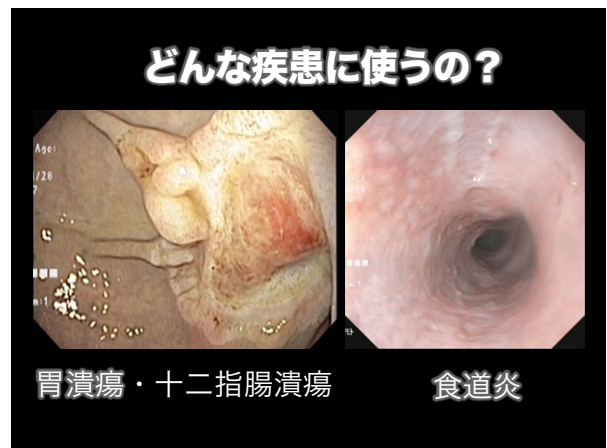
2



### 胃酸分泌抑制薬・胃粘膜保護薬 にまつわる問い

- ✓ どのような疾患が適応なのか？
- ✓ どのような薬が使えるのか？
- ✓ どうやって使うのか？

3



4

## 適応疾患？

- 逆流性食道炎
- 胃・十二指腸潰瘍
- 胃・十二指腸穿孔
- 肥満細胞腫・ガストリノーマ
- 非ステロイド系抗炎症薬 (NSAIDs)
- 血小板減少
- 慢性腎臓病 (stage IV)



Marks SL, et al. J Vet Intern Med. 2018

5

## 適正使用している？

Duxbury S., et al. J Vet Intern Med. 2022

- ✓ 2013-2018年にNCSU VTHのICU
- ✓ 200頭をランダムに抽出
- ✓ ACVIM consensus → 適切か判断

**137/200 (68.5%) が不適切**

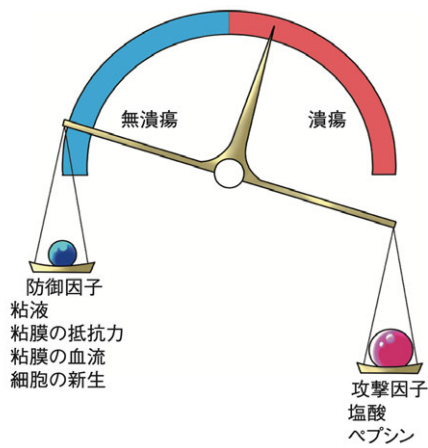
6



7

## 胃酸分泌抑制薬 胃粘膜保護薬

8



9

### H2ブロッカー

- ✓ ファモチジン
- ✓ ラニチジン

### 粘膜防護

- ✓ スクラルファート

### PGアナログ

- ✓ ミソプロストール

### プロトンポンプ阻害剤

- ✓ オメプラゾール
- ✓ ランソプラゾール

10

## 症例 犬

トイ・プードル, 雄, 3歳齢

主訴: 3週間前に急性嘔吐, 食欲廃絶

プレンドザ使用し、一時的に改善したが再度嘔吐

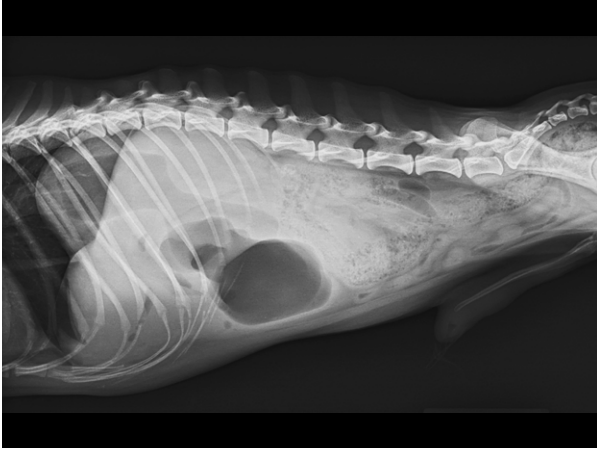
嘔吐, 食欲不振の精査を目的に当院に来院

身体検査: 意識レベル低下, ショック

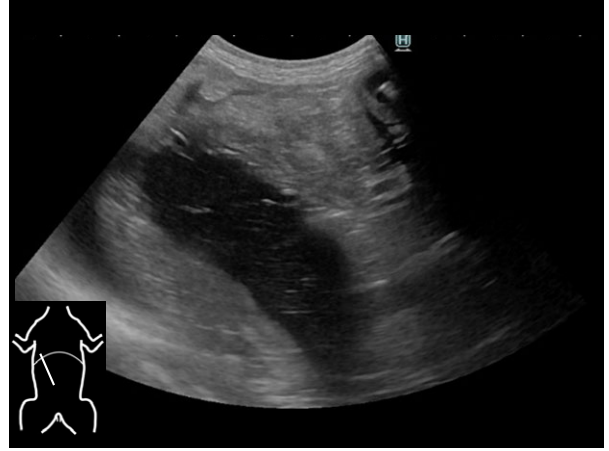
11



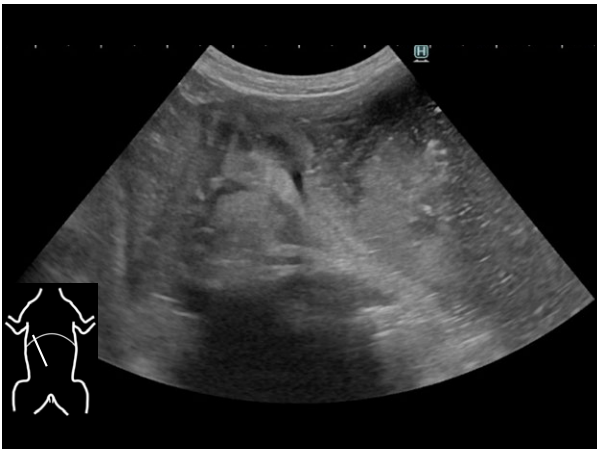
12



13



14



15

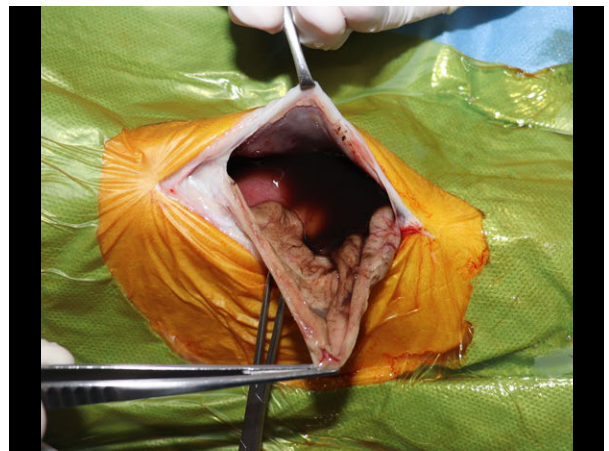
**血液検査**

WBC	24,440	/ $\mu$ l	AST	27	U/l
RBC	1.90	$\times 10^6$ / $\mu$ l	ALT	48	U/l
Hb	4.5	g/dl	TBil	0.1	mg/dl
Ht	17.0	%	ALP	458	U/l
Reti	512,400	/ $\mu$ l	v-Lip	32	U/l
Plat	30.9	$\times 10^3$ / $\mu$ l	Na	147	mmol/l
TP	5.9	g/dl	K	2.2	mmol/l
Alb	3.1	g/dl	Cl	101	mmol/l
Glu	189	mg/dl	TG	130	mg/dl
BUN	7.8	mg/dl	Tcho	130	mg/dl
Cre	0.3	mg/dl	Ca	9.3	mg/dl
			P	3.7	mg/dl
			CRP	9.0	mg/dl

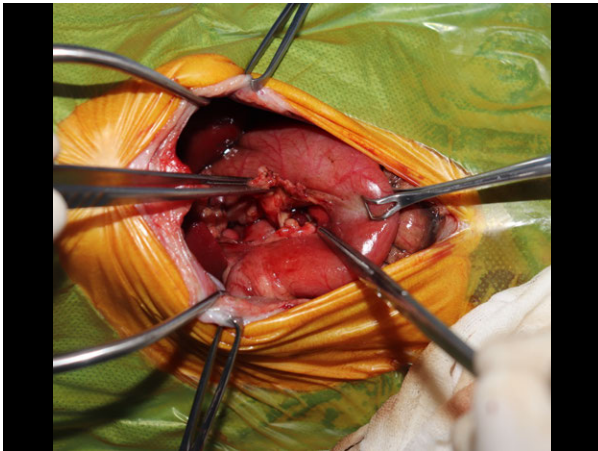
16



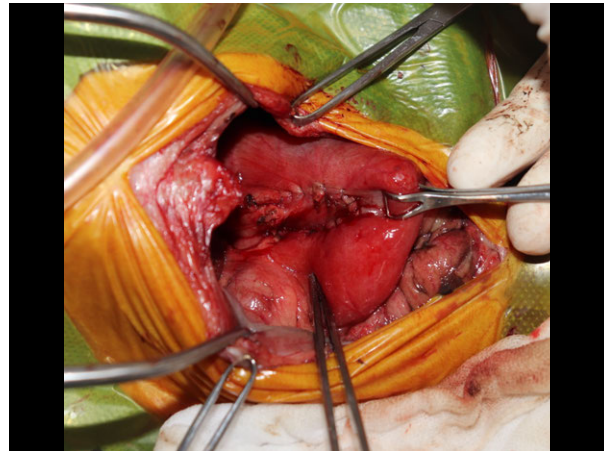
17



18



19



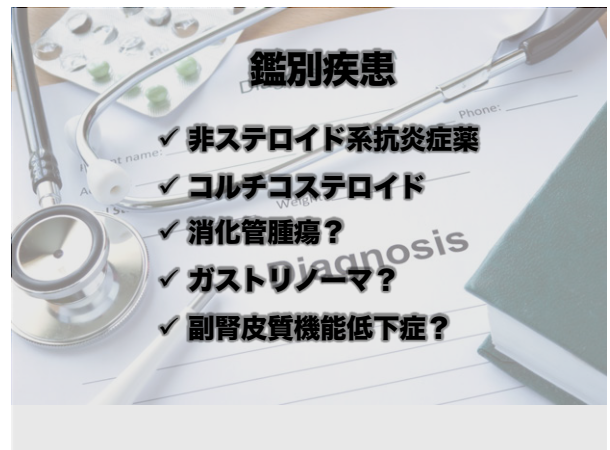
20

### 胃潰瘍の一般的な原因

犬	猫
非ステロイド系抗炎症薬	炎症性腸疾患
肝疾患	消化管腫瘍
脳・脊髄疾患	肝疾患
肝内シャント	非ステロイド系抗炎症薬
炎症性腸疾患	コルチコステロイド
消化管腫瘍	腎疾患
過度な運動	
コルチコステロイド	
ガストリノーマ	
膵炎	
腎疾患	
副腎皮質機能低下症	

Daure E., et al. J Am Anim Hosp Assoc. 2017

21



22

### 診断

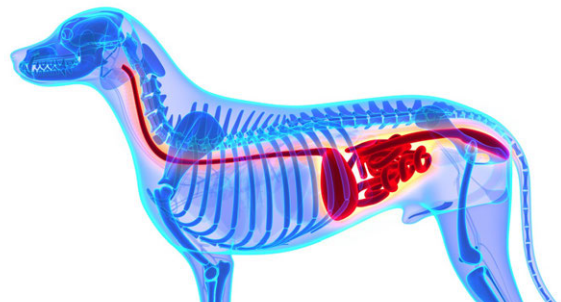
プレドニゾロン + NSAIDsの併用による  
胃潰瘍・胃穿孔

防御因子の強化    アルサルミン  
                                 ミソプロストール

攻撃因子の抑制    プロトンポンプ阻害薬  
                                 H2ブロッカー

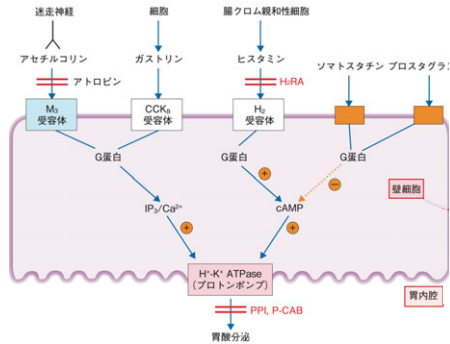
23

### どこに作用させたいのか？



24

## プロトンポンプ阻害薬 (PPI)



25

## プロトンポンプ阻害薬 (PPI)

最強の酸分泌抑制薬

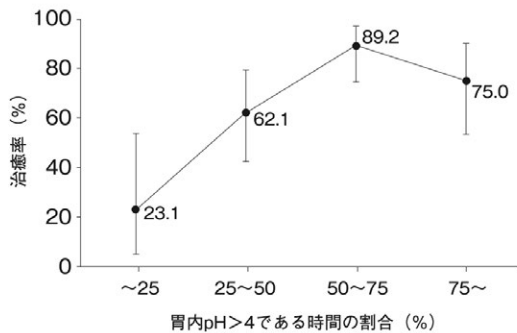
- ✓ PPI > H2ブロッカー
- ✓ 代謝機序の異なるPPI  
ランソプラゾール, エソメプラゾール

### 注意点

- ✓ オメプラゾール 腸溶剤 (分割注意)
- ✓ 休薬の際は漸減した方がよい?

26

## PPIの治療理論



Katz PO., et al. *Aliment Pharmacol Ther.* 2007

27

## ミソプロストール

NSAIDsによる消化管潰瘍専用

- ✓ PGE<sub>1</sub>アナログ
- ✓ 胃粘膜の血流増加, 修復促進, 粘液や重炭酸分泌促進
- ✓ 予防的な使用も効果的

※ プレドニゾロンには効かない?

Marks SL, et al. *J Vet Intern Med.* 2018

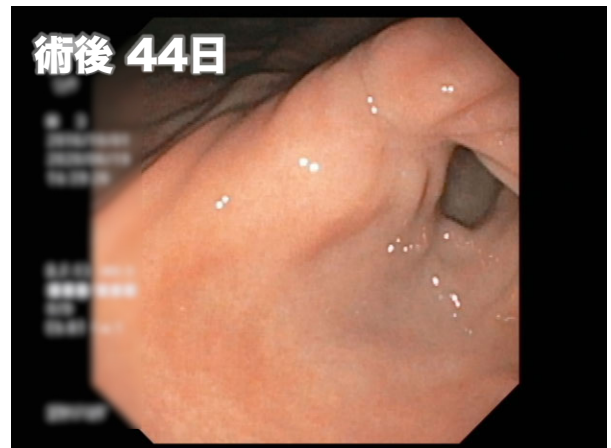
28

## 処方

- ✓ オメプラゾール 1 mg/kg IV BID
- ✓ ファモチジン 1 mg/kg IV BID
- ✓ スクラルファート 1g/head TID  
(胃瘻チューブ, 給餌前)
- ✓ ミソプロストール 3μg/kg TID  
(胃瘻チューブ)

29

術後 44日



30

## 症例 猫

マンチカン, 去勢雄, 10歳齢

主訴: 食欲低下, 呼吸速拍

3週間前より呼吸速拍→改善

その後から食欲低下 50%

既往歴: 食道裂孔ヘルニア (1年前に発見)

身体検査: 異常なし

31



32



33

## 診断

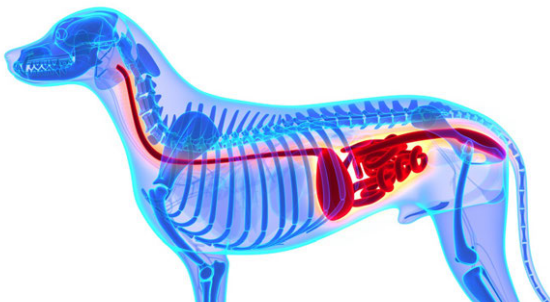
裂孔ヘルニアによる胃食道逆流と  
重度の食道炎

防御因子の強化 アルサルミン

攻撃因子の抑制 プロトンポンプ阻害薬

34

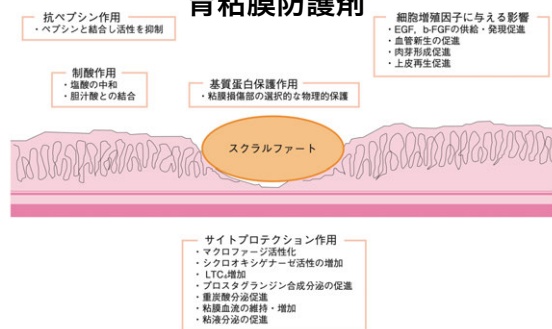
## どこに作用させたいのか?



35

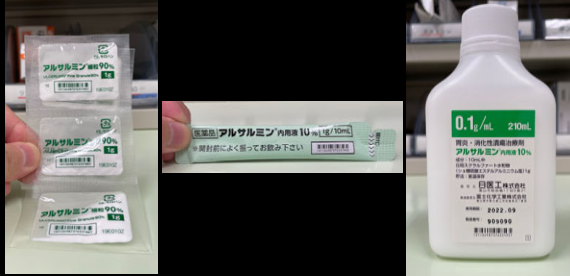
## スクラルファート

### 胃粘膜防護剤



36

## スクラルファート



- 注意点
- ✓ 空腹時に投与する
  - ✓ 他の薬剤投与は2時間以上空ける

37

## 処方

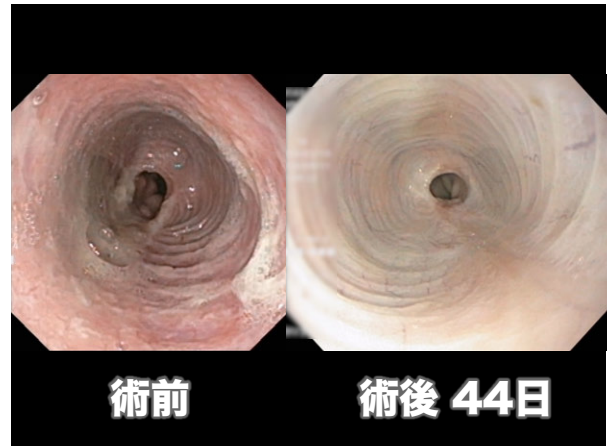
- ✓ スクラルファート 0.5 g/head TID
- ✓ オメプラゾール 1.0 mg/kg BID
- ✓ メトクロプラミド 0.2 mg/kg TID

38

術後 44日



39



40

## 胃酸分泌抑制薬・胃粘膜保護薬 まとめ

KEY POINTS

### 正確な診断と病態の把握

- ✓ 使うべき症例に使う！
- ✓ 治癒する期間を予想して使う！
- ✓ 原疾患の治療を行う！

41

ありがとうございました！



42